

ガウスマルコフの定理の証明

係数 β ($K \times 1$) のベクトル y ($N \times 1$) に関して線形な任意の推定量 $\tilde{\beta}$ は $\tilde{\beta} = C^T y$ と表せる。ここで C は任意の $N \times K$ 行列である。最小二乗推定量は $\hat{\beta} = (X^T X)^{-1} X^T y$ であるから $C = X(X^T X)^{-1}$ に相当する。

さらに $\tilde{\beta}$ として線形で不偏な推定量に限定しているので C は $E[C^T y] = \beta$ を満たさないといけない。まず C がこの条件を満たすためのより具体的な条件を導こう。

$y = X\beta + \varepsilon$ を $\tilde{\beta} = C^T y$ に代入すると $\tilde{\beta} = C^T X\beta + C^T \varepsilon$ となる。さらにこの両辺の期待値をとると $E[\tilde{\beta}] = \beta$ という条件より $\beta = C^T X\beta$ を得る。これより $\tilde{\beta}$ が不偏であるためには $C^T X = I$ とならなければならないことがわかる。この時 $\tilde{\beta} = \beta + C^T \varepsilon$ であるので

$$\begin{aligned}\text{var}(\tilde{\beta}) &= E(C^T \varepsilon \varepsilon^T C) \\ &= \sigma^2 C^T C \\ &= \sigma^2 (X^T X)^{-1} + \sigma^2 [C^T - (X^T X)^{-1} X^T][C^T - (X^T X)^{-1} X^T]^T\end{aligned}$$

を得る。この第 2 項は正値半定符号なの(任意の行列 A に対して AA^T は正値半定符号になる事に注意)なのでその対角成分は全て 0 以上。よって証明終わり。